

草花類の日持ち向上のための切花保存剤の利用方法							
<p>【要約】 スカビオーサほか、27品目の草花類に対する日持ちのための前処理剤として、STS（チオ硫酸銀）、硫酸アルミニウム、中性洗剤及びBA（ベンジルアデニン）剤の効果のあることを明らかにした。</p>							
園芸研究所・野菜花き部・花き花木研究室					連絡先	092-922-4111	
部会名	園 芸	専 門	加工利用	対 象	花き類	分 類	普及

【背景・ねらい】

草花類の日持ち向上のための前処理剤としては、現在STS（チオ硫酸銀）が主にカーネーションやスイートピー、デルフィニウムなどで利用されており、切花の品質向上と需要拡大が図られている。しかし、これら以外の品目については供試した事例が少なく、適正濃度や浸漬時間が不明であったり、処理効果が安定しない場合が多くみられる。そこで、現在まで検討されていない品目に対するSTSの濃度、浸漬時間及びその効果、並びにSTS以外の切花保存剤の利用方法と効果を明らかにする。

【成果の内容・特徴】

- ①ソリダスター、ラークスパー、ひまわり、なでしこ、ふじばかま、トルコギキョウ、スカビオーサ、ききょう及びけいとうは、STS剤の0.4mM・2時間または0.2mM・4時間処理により、日持ち日数が3日間以上長くなる。また、りんどうとストックは、STS剤の0.1mM・16時間処理で効果が高い（表1、表2）。
- ②はなしょうぶとアガパンサスは硫酸アルミニウム800ppm・2時間処理で、2日間程度日持ちが長くなる（表1、表2）。
- ③しゅうめいぎく、ふじばかま、トルコギキョウ及びスカビオーサは、中性洗剤の1000倍・4時間処理で3日から6日間程度日持ちが長くなる（表1、表2）。
- ④ジンジャーとダリアに対しては、BA剤の50ppm処理で日持ちが長くなる（表1、表2）。

【成果の活用面・留意点】

- ①草花産地における出荷前の日持ち向上技術として活用する。
- ②STS等の切花保存剤は、切花浸漬終了後の廃液の処理には十分な注意が必要である。

[具体的データ]

表1 切花保存剤の種類と日持ち効果 (平成3年)

処理日	品 目	STS剤			硫酸アルミ	中性洗剤	BA	無処理
		0.4mM 2時間	0.2mM 4時間	0.1mM 16時間	800ppm 2時間	1000倍 4時間	50ppm 16時間	
6月3日	ソリダスター	+3	+2	+2	+2	+1	+1	5
	カンパニュラ	+1	+2	0	0	0	0	8
	ラークスパー	+2	+4	+2	+3	+2	+1	4
	はなしょうぶ	+1	+2	+1	+2	+1	0	8
	グロリオサ	+1	+2	+1	+1	0	0	8
	ひまわり	+3	+3	+2	0	+2	+1	5
7月3日	クレマチス	+2	0	0	+1	-2	-4	8
	なでしこ	+3	+4	+3	0	+2	+1	10
	アガパンサス	0	+1	0	+2	0	0	8
10月7日	りんどう	+1	+1	+3	+2	-2	-2	18
	コスモス	-1	-1	-1	+1	+2	-1	7
	ストック	+1	0	+3	+1	+2	-1	11
	しゅうめいぎく	+1	+1	0	0	+3	0	13
	ふじばかま	+3	+2	+2	0	+6	-1	12
	ジンジャー	0	0	+1	+1	+2	+2	9

- 注)① 数値は無処理区と比較した日持ち日数の差、+は延長、-は短縮、0は差なし
 ② 無処理の数値は日持ち日数
 ③ 調査は常温の室内

表2 切花保存剤の種類と日持ち効果 (平成4年)

処理日	品 目	STS剤			硫酸アルミ	中性洗剤	BA	無処理
		0.4mM 2時間	0.2mM 4時間	0.1mM 16時間	800ppm 2時間	1000倍 4時間	50ppm 16時間	
6月1日	アスター	0	0	0	-2	-2	0	7
	トルコギキョウ	+5	+3	+1	+1	+3	-1	8
	ガーベラ	-1	+1	0	0	-1	-3	10
	スカビオーサ	+7	+7	+6	+3	+5	-1	10
	宿根スターチス	0	0	0	0	0	0	24
7月13日	ダリア	0	0	0	0	0	+2	6
	ききょう	+1	+3	+2	-2	-1	0	10
	けいとう	+4	0	-2	+2	-4	-4	11
	リアトリス	-2	-3	-2	-1	-1	0	11
	ひおうぎ	0	+1	+1	0	-1	-1	15
	きく	-3	-4	-4	-4	-4	-5	18
11月2日	マーガレット	0	0	-2	-2	-6	-10	28
	グラジオラス	0	0	0	0	0	+1	16

- 注)① 数値は無処理区と比較した日持ち日数の差、+は延長、-は短縮、0は差なし
 ② 無処理の数値は日持ち日数
 ③ 調査は常温の室内

[その他]

研究課題名：切花保存剤の処理方法

予算区分：県特

研究期間：平成4年度 (平成3～4年)

研究担当者：谷川孝弘、小林泰生、坂井康弘

発表論文等：平成3～4年度園芸研究所野菜花き部花き花木研究室試験成績書